１．９　核融合科学研究所施設見学・体験

(1) 研究開発の課題（研究概要）

社会的要請が大きい核融合発電について、研究施設見学や講義、実験・実習を通して正しい知識を身につけさせる。また、科学・技術の有用性を実感させる。

(2) 研究開発の経緯

事前に説明会を開催し、実験・実習の班分けをした。その際、核融合科学研究所が作成したパンフレットを配付し予習をさせた。当日、研究所に向かうバス内でも、研究所が作成したDVD「星から来たエネルギー」を視聴した。

(3) 研究開発の内容

ア　仮説（ねらい、目標）

正確な知識を身につけさせる。科学･技術への興味･関心を高めるとともにキャリア形成を図る。

施設の概要説明を聞く参加者

イ　研究の内容・方法

対象生徒　普通科１年生徒　30名

日時場所　８月８日（火）核融合科学研究所

実施内容　午前 施設見学

講義　土屋先生

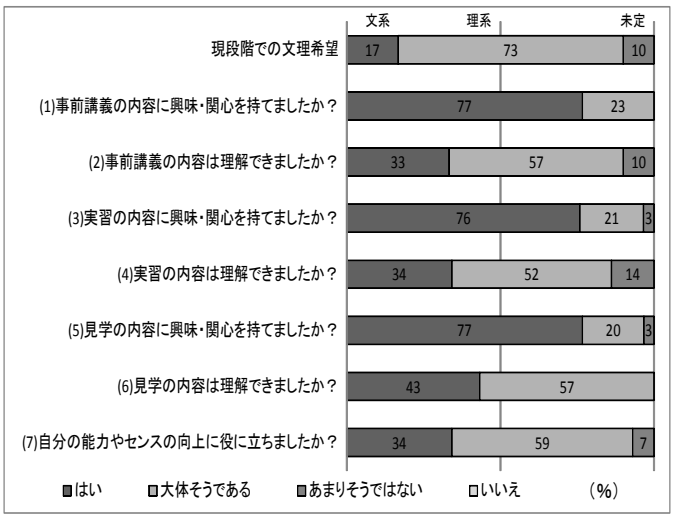
午後 実験・実習

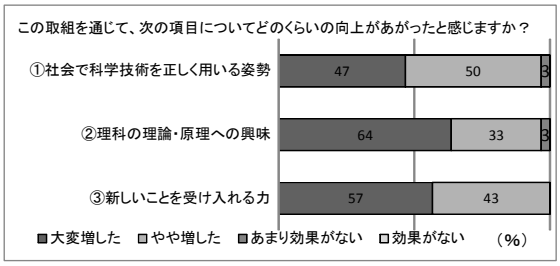
・プラズマの電気計測（吉村先生・永岡先生）

・コンピューターシミュレーション（鈴木先生・菅野先生）

・電子顕微鏡（田村先生・八木先生）

ウ　検証（成果と反省）





生徒の感想から

・実際に働く研究者と交流できる機会は貴重であり刺激的。研究者を志す自分としてはとても参考になったし励ましになった。参加して良かったです。

・今まで核融合のことについてはほとんど知りませんでしたが、今日の実習や見学を通して核融合の仕組みを理解し、その将来性の高さを感じることができました。

アンケートの結果や生徒の感想から、生徒の知識が増え、興味・関心も高まったたことがわかる。１年生で物理分野の学習が進んでおらず、知識が乏しい生徒には難しい内容であったが、分かりやすく説明していただいた事で興味を持って学ぶことができた。生徒のキャリア形成にとって有意義な体験となった。